

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスまなび家早島		
○保護者評価実施期間	7年 1月 10日		7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	7年 1月 10日		7年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節を大切にした療育支援	春は遠足やお花見、夏には海・プール・夏祭りなどがあり、その季節にしか体験できない遊びを数多く取り入れています。また、工作など指先の微細運動や公園などに行き粗大運動も取り入れています。	引き続き、四季折々のイベントを取り入れたプログラムを行い、放課後等デイサービスに通うことが楽しく思えるような環境作りをしていきます。
2	保護者さまとの連携	情報共有による継続的なサポートは、お子さんの成長を大きく促進します。保護者さまとの連携により、専門性を活かした支援が可能になり、お子さん一人ひとりのニーズに合わせた、きめ細やかなサポートが出来るよう職員でミーティングを行い情報共有に徹しています。	引き続き、Websystemや送迎時などを介して細かに日頃の様子をお伝えし、ご家庭での支援・放課後等デイサービスによる支援が充実していけるような取り組みに努めます。
3	多種多様な人員	保育士・教員免許を取得した経験豊富なスタッフを配置しています。 他にも、強度行動障害支援者養成研修を取得しているスタッフもいるため、寄り添った療育・子どもに合わせて、療育が出来るよう考慮しています。	専門職のさまざまな意見を出し合い、さらなるスキル向上へと繋げていきながら、「できた」の経験を増やしていけるよう努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携	交流会や地域住民を招待する等、第三者を交えての交流が乏しいです。そのため、児童発達支援管理責任者や児童指導員と、様々な交流会に参加したり、招待できるよう立案していきたいです。	安全面を考慮しながら、近くの公園等から少しずつ交流の機会を増やしていきます。また、地域の活動等の情報収集を行い活用していけるように努めていきます。
2	バリアフリー化	既存の建物であるため、バリアフリー化が難しいです。	職員同士で会議を行い、危ない箇所・改善点を上げていきながら、お子様が安全に過ごせる環境作りを行っています。
3	非常時等への対応	防災への取り組みや緊急時の対応は作成していますが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足となっています。	防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認の元、年度初めに保護者へ周知していきます。